

日本産業技術史学会 2021 年度第 3 回理事会議事録

議事案件として、会長・副会長の選出があるため、現理事と次期理事の合同による拡大理事会とした。

日時：2022 年 3 月 20 日(日) 18:00～20:00

場所：Zoom によるオンライン開催

出席者：天野雅敏、石村眞一、市川浩、亀井修、鈴木淳、田中一郎、夏目賢一、平野恭平、
廣田義人、麓和善、馬淵浩一、武藤夕佳里、
(新理事) 市原猛志、濱田晋一、山田大隆

欠席：橋本毅彦

報告その他

1. 本会運営の状況(財務・会費納入状況等)について

廣田理事より、資料に基づいて、会費納入状況について説明があった。収入面では正会員収入が昨年度より減少し、会誌の刊行がなかったため会誌販売収入もなかったが、支出面で会誌編集刊行費が発生しなかったため、最終的に 432、695 円の黒字となった。

2. 本会運営の状況(会員の動向等)について

廣田理事より、会員の入会、退会の状況について説明があった。

3. 会誌(冊子版)の編集及び発行予定について

田中理事より、現在査読中の論文はなく、研究ノート 1 本、書評 2 本のみであるため、今年度は刊行できない旨の報告があった。定期刊行のために積極的な投稿が呼びかけられた。

4. 会誌(電子版)の編集及び配信予定について

平野理事より、2021 年は第 23 巻として論文 1 本、研究ノート 1 本を掲載することができたこと、今後の課題としては、会誌(冊子版)の田中理事、学会ホームページ担当の濱田新理事と連携しながら、会誌の J-STAGE への掲載を目指す旨の説明があった。

5. 第 35 回学会賞について

今年度は学会賞 1 件、奨励賞 1 件の応募があったが、選考委員会で慎重に検討した結果、いずれも学会賞には相当せず、残念ながら授賞を見送る旨の報告があった。

6. 第 20 期役員選挙の結果について

選挙管理委員会から第 20 期役員選挙(信任投票)の開票結果として、新理事に【北海道】山田大隆、【関東】亀井修、鈴木淳、【中部・北陸】田中一郎、夏目賢一、濱田晋一、麓和善、【近畿】天野雅敏、平野恭平、廣田義人、武藤夕佳里、【九州】市原猛志、監事に臼田松男、梅本良作が信任されたことが、文書で報告された。

7. 2022 年度(第 38 回)年総会について

実行委員長の夏目理事から、来年度の年総会は、9 月 3 日(土)の全日、「しいのき迎賓館(旧県庁)」のセミナールーム A と B を両室仮抑えた旨の報告があり、理事から承認を得た。見学会については今後のコロナの状況を見ながら引き続き検討することとなった。

8. その他

特になし。

議事案件

1. 会長・副会長の選出について

理事の互選により、会長に廣田義人理事、副会長に鈴木淳理事、亀井修理事が選出された。

2. 「さんぱく」担当者の交代について

これまで「さんぱく」を担当されていた馬淵理事が今期をもって理事を退任されるため、今後は濱田新理事に担当していただくことになった。

3. 事務局の移転について

これまで事務局は、大阪工業大学知的財産学部廣田研究室内に置いていたが、すでに11年を経過しており、さらに廣田理事が定年退職を迎えていることから、事務局の移転が緊急の課題であることが麓会長から説明され、具体的な移転先の検討を行うこととなった。

4. 2023年度(第39回)年会・総会について

関西(大阪・京都)あるいは北海道(札幌)のいずれかで開催することとし、両地域の理事を中心に継続して検討することとなった。

5. その他

特になし。